



2025 年度 第 2 回講演会 ナノポアテクノロジーの DNA・RNA 解析技術 最新アップデートのご紹介

演者 山重 りえ 氏（株式会社オックスフォード・ナノポアテクノロジーズ）

オックスフォード・ナノポアテクノロジーズは、独自のポアたんぱく質を用いた一分子センシング技術を提供しています。ナノポアのテクノロジーは、短い核酸断片から 50kbp を超える長さのものまで、あらゆる長さの DNA 配列の解析を可能にするとともに、メチル化情報を同時に取得することができます。

また、DNA のみでなく、RNA を直接シーケンスことも可能で、これにより、RNA 配列とともに RNA の修飾塩基の情報も取得することが可能です。本講演では、ナノポアの最新技術とともに、特に創薬の分野での活用事例についてご紹介をさせていただきます。

日時：2025年9月5日（金） 14:00～15:00

場所：ペリエホール Room A（JR千葉駅直結）およびWebex会議室

※当日は、15:00から谷口先生の講演があります。

※2つの講演終了後、オンサイトでの交流会を行います。

参加資格：正会員、学生会員、賛助会員 ※賛助会員（団体）1口5名まで

参加登録：必要、参加費：無料（事前に年会費をお支払いください）

入会および参加登録の情報はホームページで <http://www.mrna-target.org/>

問合せ先：お問い合わせ npo_support@mrna-target.org

※正会員の主催する研究室の学生については特別参加が可能です。詳細はお問い合わせください。



2025 年度 第 2 回講演会

1 分子 RNA の塩基配列を解析する新たな技術

演者 谷口 正輝 博士（大阪大学 産業科学研究所 教授）

1 分子の電気抵抗の違いを読み出す生体分子シーケンサーは、DNA・RNA の塩基配列とペプチドのアミノ酸配列を直接決定することができる。また、塩基分子とアミノ酸が化学修飾されると電気抵抗が変化することを利用して、エピジェネティック解析、エピトランスクリプトーム解析、および翻訳後修飾解析も可能である。さらに、1 分子をカウントすることで、DNA・RNA・ペプチドの定量解析が可能である。がん患者から採取した RNA の計測・解析により、1 本の RNA 上のメチル化されたアデニンとシトシンの同時検出や、メチル化をマーカーとしたすい臓がんの高精度診断について紹介する。

日時:2025年9月5日(金) 15:00~16:00

場所:ペリエホール Room A (JR千葉駅直結)およびWebex会議室

当日は、14:00から山重氏の講演があります。

※講演終了後、オンサイトでの交流会を行います。

参加資格: 正会員, 学生会員, 賛助会員 ※賛助会員(団体) 1口5名まで

参加登録: 必要, 参加費:無料 (事前に年会費をお支払いください)

入会および参加登録の情報はホームページで <http://www.mrna-target.org/>

問合せ先:お問い合わせ npo_support@mrna-target.org

※正会員の主催する研究室の学生については特別参加が可能です。詳細はお問い合わせください。